

経営比較分析表（令和5年度決算）

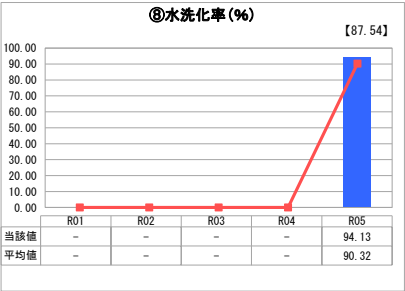
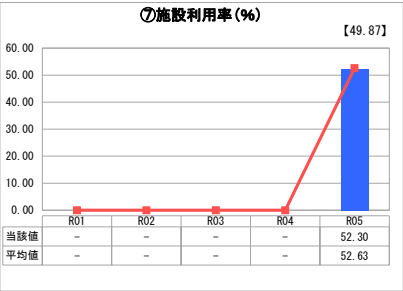
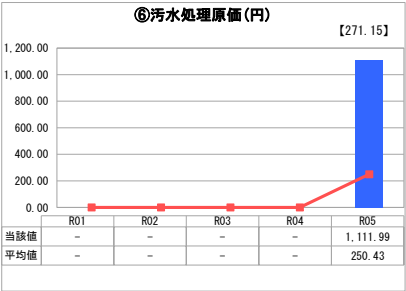
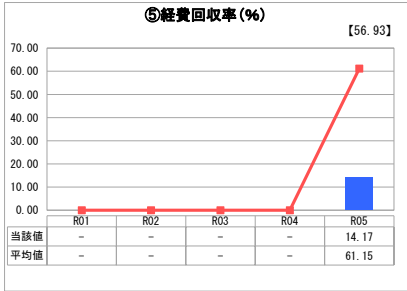
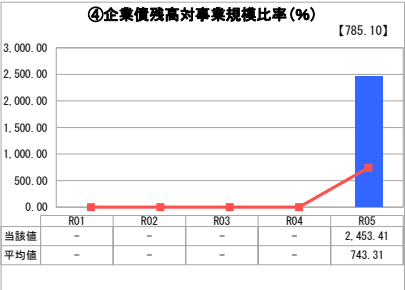
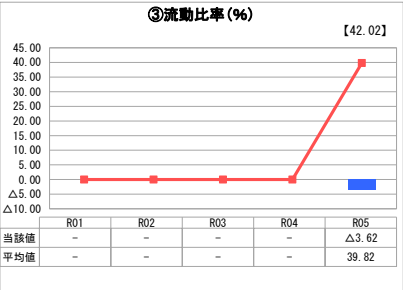
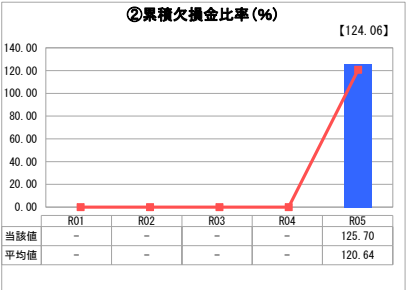
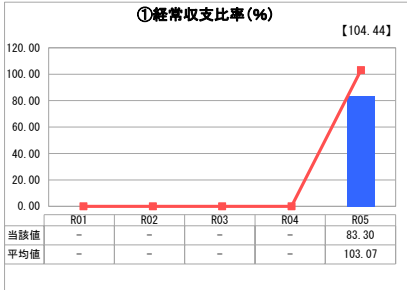
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	91.31	4.46	100.00	3,115

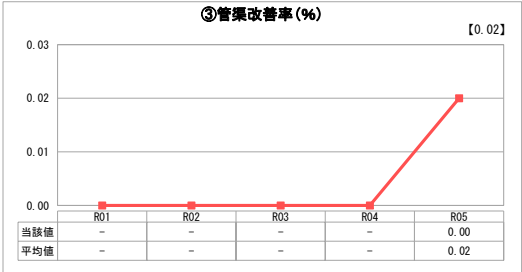
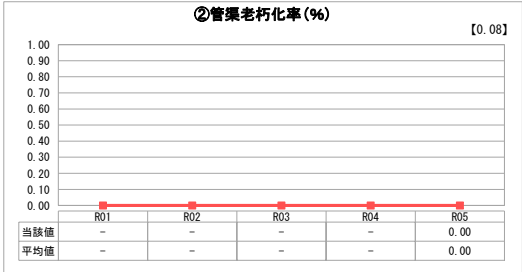
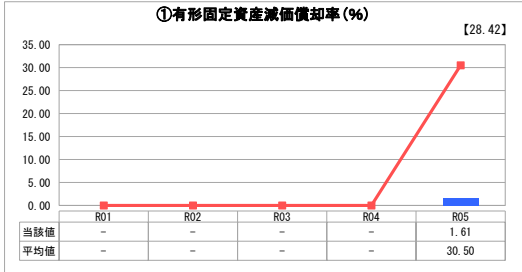
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,151	144.21	91.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
579	0.34	1,702.94

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値） — 類似団体平均値（平均値） 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度決算について、法適用初年度であるため、表示されている値での分析は不可能である。経常収支比率については、類似団体平均値を下回っているため、使用料収入の見直しや適正な維持管理に努めていく。

経費回収率や汚水処理原価については、減価償却費が要因となっており、今後も現在と同様に推移していくことが予想されるが、その中でも維持管理のスリム化を図り、経費削減に努めていく。

施設利用率については、今後も施設規模の適正化を検討していく必要がある。

水洗化率については、概ねエリア全域に普及しており、早期から下水道事業への取組みをしていることもあって、類似団体と比較しても高い水洗化率となっている。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、近年更新等の実績はありません。今後、更新計画を策定し、長期的な視点で検討する必要がある。

全体総括

経営の健全性に向け、使用料の適正設定及び、一層の維持管理の効率化を図り、経費削減に努める必要がある。

また、施設の老朽化や人口減少による改築更新等に備え、処理場・管渠等の長期的な更新計画を策定し、健全な事業運営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。